

# 令和6年度生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務の実績報告

## 1 活動実績

		R 4	R 5	R 6 (4月～10月)
地域・団体との関わり (集いの場に出向き実態把握を行った件数)		127件 10.5件/月	135件 11.2件/月	98件 14.0件/月
ヒアリング (地域住民等から情報収集を行った件数)		522件 43.5件/月	405件 33.7件/月	261件 37.2件/月
協議体開催 (地域課題についての協議の場の開催回数)		42回 3.5回/月	19回 1.5件/月	11回 1.5件/月
きよす 家事サポーター 養成講座	開催形式	集合形式	集合形式	集合形式
	開催回数	2回	2回	1回
	参加人数	10人	10人	(11/13 現在予定) 13人
	登録希望	3人	4人	一人

### <参考>ヒアリング対象者数・割合

	地域住民	民生委員	医療機関	ケアマネージャー	サービス提供事業者	包括支援センター	協議会 社会福祉	行政	企業	その他 (学校など)	計
R 4	461件	0件	0件	1件	2件	24件	4件	1件	18件	11件	522件
	88.7%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	4.3%	0.7%	0.2%	3.5%	2.0%	100%
R 5	316件	0件	0件	1件	2件	8件	15件	15件	44件	4件	405件
	78.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.5%	2.0%	3.7%	3.7%	10.9%	1.0%	100%
R 6 (4月～10月)	191件	1件	2件	0件	0件	4件	11件	3件	40件	9件	261件
	72.6%	0.4%	0.7%	0.0%	0.0%	1.6%	4.3%	1.0%	15.9%	3.5%	100%

## 2 生活支援体制整備事業の取組状況

### (1) 第1層生活支援コーディネーターの取組み

○協議体（福祉団体や社協の他事業との連携による開催）[年10回程度開催]

目的：地域住民との情報交換とニーズ把握

○協議体「地域ささえあい会議」[年2回程度開催]

目的：住民、専門職がともに地域課題について検討し、地域情報の共有と連携を強化することにより、助け合いのある地域基盤を作る。

参加者：地域住民、地域包括支援センター職員、高齢福祉課職員、生活支援コーディネーター

テーマ：買い物、男性の社会参加

○社協主体サロン、福祉出前講座の開催

目的：集いの場の創出と、担い手の養成

・みんなのげんき塾inヨシヅヤ清洲店

・(新規取組) つながるサロン (清洲総合福祉センターつながり広場)

## (2) 第 2 層生活支援コーディネーターの取組み

○協議体（福祉団体や社協の他事業との連携による開催）[年 10 回程度開催]

目的：地域住民との情報交換とニーズ把握

○協議体「地域ささえあい会議西枇杷島」[年 3 回程度開催]

目的：住民、専門職がともに西枇杷島の地域課題について検討し、地域情報の共有と連携を強化することにより、助け合いのある地域基盤を作る。

参加者：地域住民、地域包括支援センター職員、市役所、生活支援コーディネーター

テーマ：西枇杷島地区における福祉啓発のため、情報発信の場の創出

## 【西枇杷島協議体イベント】

参加した地域住民から西枇杷島の地域資源や課題点などを挙げてもらった。

内 容：「けん玉教室」 講師：清須健康けん玉サークル

開 催 日：8 月 2 4 日（土）

参加人数：30 人 ボランティア数：22 人

参加企業：株式会社フジミインコーポレーテッド、株式会社和田製作所

## 3 4 月～10 月の成果

## (1) 医療・介護資源マップ等を活用した地域資源の見える化

- ・社協主体サロン（集いの場や学びの場）のチラシや見守りプレートの作成を行い、寿会やボランティア、町内会等に配布をすることで、社会参加の促進のきっかけづくりや資源の情報発信を行った。
- ・企業向け地域貢献チラシを作成し商工会へ配布協力を依頼、企業への啓発活動を行った。
- ・西枇杷島地区に向けた福祉情報発信のため、スーパー内掲示板利用の協力依頼を行った。

## (2) 生活支援の担い手の養成及び生活支援などサービスの開発

- ・男性の社会参加促進、地域づくりを目的に社協貸出備品の充実を図り、コミュニティスポーツの講座を開催。サロンやボランティア団体等へコミュニティスポーツの推進を図った。
- ・企業の地域貢献活動に関する相談支援を行った。（出前講座講師、フードドライブ、協議体への参加、集いの場コラボ企画の提案等）
- ・市内の企業等に福祉学習会やサロン等が開催できる活動場所の提供の協力呼びかけを行った。

## (3) ニーズと地域資源のマッチング

- ・寿会、企業と連携しスマホ教室を開催。高齢者の ICT 活用の支援を行った。  
清洲地区：企業ボランティア参加によるサロンを 2 回開催  
新川地区：ドコモスマホ教室を 4 5 講座程度開催予定  
西枇杷島地区：西枇杷島協議体による清須市すぐメール登録支援
- ・身近な地域で福祉や健康に役立つ講座を開催したい住民と、専門分野を生かして講座を開催したい企業をつなぎ、地域への出前講座を開催した。（連携企業 1 1 社）
- ・ボランティア団体、企業と連携して社協主体サロンの福祉講座を開催し、健康や福祉、暮らしについての学びの場の創出と情報発信を行った。

開催場所	開催日	参加人数	内容
ありがとうひろば (ヨシヅヤ清洲店)	4/10	23	落語で笑って健康に！
	4/24	17	介護保険って何？ケアマネジャーに聞いてみよう
	5/8	22	骨と筋肉の健康について
	5/22	22	聞こえの勉強会
	7/10	17	高齢者交通安全教室
	9/25	14	片づけて家族を守る、災害に強い家をつくろう
つながり広場 (清洲総合福祉センター)	6/12	20	お薬について
	8/8	18	コミュニティスポーツで地域づくり

- ・高齢者の活動の場の創出や多世代の交流を目的として、多様なレクリエーションの開催を希望している市内小学校の放課後子ども教室に、ボランティア団体による出前講座の提案を行った。(2校実施)
- ・企業、ボランティアとコラボし、社協主体での集いの場を開催した。  
(生活困窮者向け食事会 参加者46人)

#### (4)協議体の設置に関する事務

- ・西枇杷島協議体定例会議(地域住民ボランティア10人程、2企業参加)やボランティア団体と連携したイベントを開催。地域住民同士の交流を図るとともに、住民から地域課題を聞きとり課題の把握を行った。
- ⇒西枇杷島地区における買い物支援について情報収集を行い、解決に向け協議を行う。
- ・定例会議開催回数について:ボランティアからの要望により年3回程度から月1回に変更。

## 4 課題及び今後の事業予定

- ・担い手の高齢化等により停滞する地域活動を活性化する必要がある。  
⇒SNS やスマートフォンを活用したオンラインでの社会参加やつながりづくり等、新たな支え合い活動を推進する。  
⇒集いの場や地域の支え合い活動の情報を発信する広報紙「つながろう」を作成し、社会参加の促進と新たな支え合い活動創出のきっかけづくりを行う。
- ・既存の仕組みでは対応できないニーズを解決するため、寿会等各種団体との連携強化と新たな支え合いの仕組み作り、社会資源の創出が必要である。  
⇒地域課題の洗い出し、課題解決に向けた協議体の定期的な開催をし、地域情報の共有と連携強化により助け合いを創出する基盤を創る。
- ・男性の地域活動への参加促進や「通いの場」の創出。  
⇒先進的な支え合いの仕組みについて学び、社協がモデル的に実施をすることで、市内の活動団体に新たな取組の提案を行う。  
⇒愛知県助言者派遣による講演会の開催。